

令和2年2月5日

浜田市議会議長
川神 裕司 様

議員名 田畠 敬二



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期間 令和2年1月27日（月）～28日（火）

2. 研修内容 令和元年度第3回市町村議会議員特別セミナー

1 社会福祉と財政システム・京都大学大学院経済学研究科/地球環境学堂 教授：諸富 徹

2 超高齢化社会の現状と地域包括ケアシステムによるまちづくり

・東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授：辻 哲夫

3 児童福祉の現状と課題・関西大学人間健康学科 教授：山縣 文治

4 障がい者の就労と暮らしの支援について

・東近江圏域働き・暮らし応援センター“Tekito-”センター長：野々村 光子

3. 研修先

公益財団法人全国市町村研修財団「全国市町村国際文化研究所」

4. 調査経費 34,720 円

(経費内訳 受講料 7,090 円、交通費 27,630 円)

5. 調査研究活動の概要

①視察に至った経緯

「J I A M」で議員力を高めようとの、創風会の瀧谷会長の音頭でセミナーに参加した。

②視察の内容

① 社会福祉と財政システム

■講演=京都大学大学院教授：諸富 徹氏

講演内容

- 1、日本財政の現状
- 2、社会保障の財政規模
- 3、福祉国家モデルと費用負担制度

- 4、「社会保険モデル」から「普遍主義モデル」へ
- 5、医療保険の場合～「老人保健制度」（「後期高齢者医療制度」）の創設
- 6、日本の社会保障制度と費用負担原理
- 7、社会保障を誰がどのように負担するのか～日本の税制～
- 8、所得税の現状
- 9、法人税の現状
- 10、近年の法人税改革
- 11、消費税
- 12、グローバル化と税制

所感

・日本の税収はバブル崩壊後から伸び悩み、逆に歳出は社会保障の大幅な増大や阪神・淡路、東北大震災の復興などで右肩上がりに増えている。ゆえに、経済のグローバル化に対応した国内税制に改革していく必要、及び消費税の重要性と社会保障の機能充実をセットで考える必要があると感じた。

② 超高齢化社会の現状と地域包括ケアシステムによるまちづくり

■講演：東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授：辻 哲夫氏

講演内容

- 1、超高齢化社会
 - 個人の長寿化（人生100年）
 - 社会の高齢化（75歳以上、85歳以上）
 - 認知症（共に暮らす社会）
 - 世帯構造（高齢者一人暮らしが基本）
 - 2040年までが日本の正念場

- 2、高齢期の自立度

- 特に重要な新しい要素（フレイルと在宅医療）

- 3、政策の基本方向

- 地域包括ケア
 - ・できる限り元気で、弱っても安心して過ごせる地域づくり
- 地域包括ケアの深化
 - ・自助互助の重要性
 - ・テクノロジーを活用したまちづくりへ向かう

所感

・今後の日本は、超高齢化社会を迎えると共に認知症有症率も上がって、フレイル（加齢による心身の衰え）予防が重要である。そして地域包括ケアシステムとICTによる在宅医療と訪問看護の重要性、それを取り巻く「まちづくり」と「就労」が大きなキーポイントであるとのこと。そして最後に、**2040年を見据え、健全な危機意識をもって共生社会の実現をめざせ！ 「俺がやる」職員を創れ！ 子育て支援施策の弛まざる努力をせよ！**

と説かれた。非常に熱心に説得力のある講義であって、いたって感動した次第である。

③ 児童福祉の現状と課題

■講演＝関西大学人間健康学科 教授：山縣 文治氏

■講演内容

1、子育て施策を巡る環境

- 2040年に市町村はどうなっているのか
- 人口はどこまで維持できるのか
- 保育所・幼稚園はどうなってきたのか
- 保育所・幼稚園・認定こども園施策を充実するだけで就学前の子育て支援は大丈夫か
- 就学前の「学校教育」は衰退か充実か

2、子育て支援の重要性

- 現代社会には媚びる三つの病気
- 子育て支援のターゲット
- 子育て支援の目標
- 子育て支援と地域社会

3、子ども虐待について

- 共通性はなし
- 虐待の発生要因
- 虐待相談
- 子ども虐待の支援で意識しておくべきこと
- 市町村の課題：窓口の整理

■所感

・子育て支援の重要性を改めて痛感した。

4 障がい者の就労と暮らしの支援について

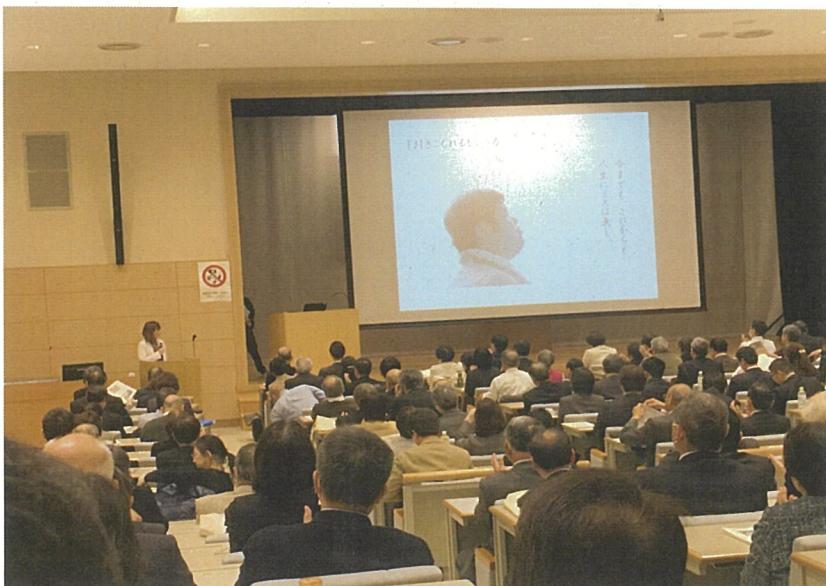
■講演＝東近江圏域働き・暮らし応援センター “Tekitoー” センター長：野々村 光子氏

■講演内容

- “10年後の彼を見つめた就労支援”～未来への下ごしらえ～

■所感

・なんともパワフルな女性である。女性であるからこそ、ここまでできるのだろう。
それでも実感がこもっている。怖いもん無しで、考え方も筋金が入っていてまちづくりにもってこいの人物であってこういう人物を掘り起こし育していくべきだと感じた。



(野々村さんのパワフルな講義)